

機械器具（25）医療用鏡
一般医療機器 可搬型手術用顕微鏡（36354020）
特定保守管理医療機器「手術用顕微鏡OMS－710」の付属品
「手術用顕微鏡OMS－800」の付属品＊
f80TVリレーレンズ TL－9A
f60TVリレーレンズ TL－10A

【警告】

使用前には、必ず付属品締付リング及びアダプター締付リングが確実に締め付けられていることを確認すること。
[落下により死傷する恐れがあります]
付属品の着脱は患者の上で行わないこと。
[落下により死傷する恐れがあります]

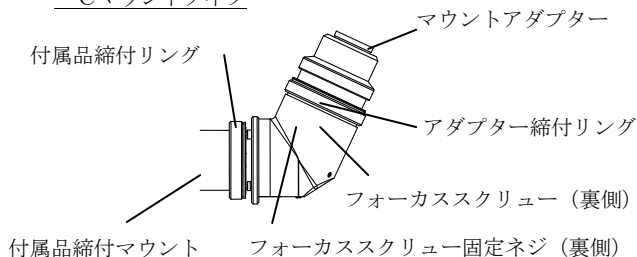
＊【形状・構造及び原理等】

1. 構成

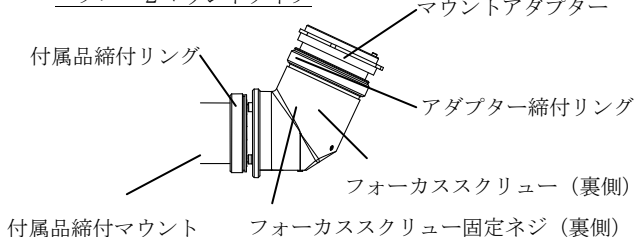
本品は、結像サイズの異なるf80TVリレーレンズTL－9A（以下「f80TVリレーレンズ」という）と、f60TVリレーレンズ TL－10A（以下「f60TVリレーレンズ」という）の2種類があり、更に組み合わせるTVカメラの違いによって、f80TVリレーレンズにはCマウントタイプ、東芝・ビクターマウント、ソニー2マウントタイプの3種類、f60TVリレーレンズにはCマウントタイプの1種類がある。

(1) f80TVリレーレンズ

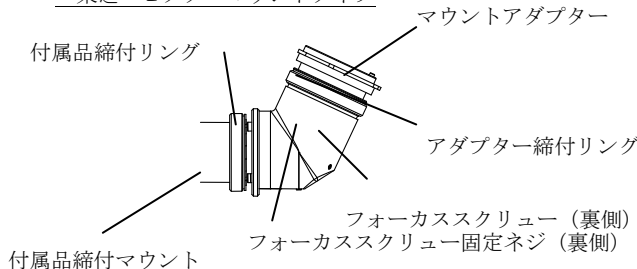
・Cマウントタイプ



・ソニー2マウントタイプ

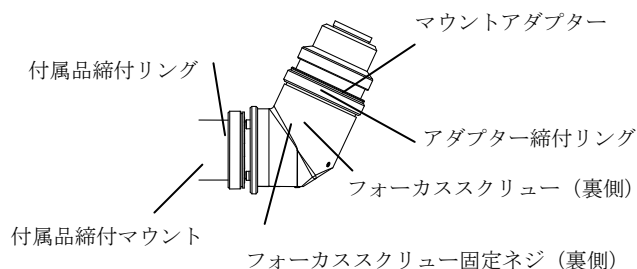


・東芝・ビクターマウントタイプ



(2) f60TVリレーレンズ

・Cマウントタイプ



2. 寸法

1) f80TVリレーレンズ

・Cマウントタイプ

寸法：108mm(W)×52mm(D)×103 mm(H)

・ソニー2マウントタイプ

寸法：109mm(W)×52mm(D)×89mm(H)

・東芝・ビクターマウントタイプ

寸法：109mm(W)×52mm(D)×88mm(H)

2) f60TVリレーレンズ

・Cマウントタイプ

寸法：108mm(W)×52mm(D)×103mm(H)

3. 作動原理

観察光学系から分割した像をTVカメラの撮像面に結像させる。

4. 使用環境

温度：10℃～40℃

湿度：30%～75%（結露なきこと）

気圧：700hPa～1060hPa

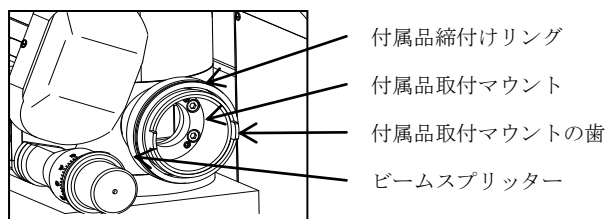
＊【使用目的又は効果】

手術用顕微鏡OMS－800又は手術用顕微鏡OMS－710と市販のTVカメラと組み合わせ、観察像をTVカメラ撮像面に結像する。

＊【使用方法等】

＜取付方法＞

1. 手術用顕微鏡OMS－800又は手術用顕微鏡OMS－710のビームスプリッター（以下、ビームスプリッターという）のビームスプリッター保護キャップを取り外します。



2. 手術用顕微鏡OMS－800又は手術用顕微鏡OMS－710の付属品取付マウントにf80TVリレーレンズ又はf60TVリレーレンズ（以下「TVリレーレンズ」という）を取り付け、付属品締付リングを締め付けて固定します。

3. TVリレーレンズのアダプター締付リングを反時計方向に回し、TVリレーレンズからマウントアダプターを一旦外します。

4. TVカメラに、マウントアダプターを取り付けます。

5. TVカメラを取り付けたままマウントアダプターを、TV

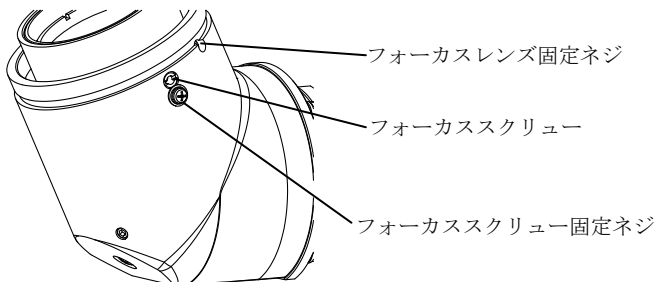
取扱説明書を必ずご参照下さい

リレーレンズに取り付け、アダプター締付リングを回し固定します。このときモニター画面に映し出された映像を見ながら、TVカメラを正しい方向にセットします。

6. アダプター締付リングを時計方向に回して固定します。
7. 必要に応じて以下の手順でピント調整を行います。尚、一度ピント調整を行えば、特別な場合を除いて再調整の必要はありません。

＜ピント調整手順＞

1. フォーカススクリュ固定ネジをプラスドライバーで外します。
2. フォーカスレンズ固定ネジを緩めます。
3. 手術用顕微鏡OMS－800又は手術用顕微鏡OMS－710の観察倍率を最大にして、接眼レンズを覗いて物面にピントを合わせます。
4. 手術用顕微鏡OMS－800又は手術用顕微鏡OMS－710の観察倍率を最低に変更します。
5. フォーカススクリュをマイナスドライバーで回し、TVモニターに映っている物面のピントが合う位置に調整します。
6. フォーカスレンズ固定ネジを締付けます。
7. フォーカススクリュ固定ネジを取付けます。



詳細は、手術用顕微鏡OMS－800又は手術用顕微鏡OMS－710の「取扱説明書」の「使うための準備」、「使用中の操作」を参照のこと。

*【使用上の注意】

＜その他の注意＞

1. 機器を設置するときは次の事項に注意すること。
 - (1) 水のかからない場所に設置すること。
 - (2) 気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、イオウ分などを含んだ空気などにより悪影響の生ずる恐れのない場所に設置すること。
 - (3) 傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）など安定状態に注意すること。
 - (4) 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に設置しないこと。
2. 機器の使用前には次の事項に注意すること。

機器を使用する前には、必ず助手用顕微鏡固定ねじ及び接眼鏡固定ノブが確実に締め付けられていることを確認すること。
3. 機器の使用中は次の事項に注意すること。
 - (1) 診断に必要な時間をこえないように注意すること。
 - (2) 機器全般及び患者に異常のないことを絶えず監視すること。
 - (3) 機器及び患者に異常が発見された場合には、患者に安全な状態で機器の作動を止めるなど適切な措置を講ずること。
 - (4) 機器に患者が触れることのないよう注意すること。
4. 機器の使用後は、次回の使用に支障のないよう必ず洗浄しておくこと。

廃棄

装置を廃棄する場合は、廃棄、リサイクルに関する自治体の条例に従うこと。

【保管方法及び有効期間等】

1. 貯蔵・保管（非包装（非梱包）状態）

温度：10℃～40℃

湿度：30%～75%（結露なきこと）

気圧：700hPa～1060hPa

2. 貯蔵・保管（包装（梱包）状態）

温度：-20℃～50℃

湿度：10%～95%

気圧：700hPa～1060hPa

3. 輸送（包装（梱包）状態）

温度：-20℃～50℃

湿度：10%～95%

気圧：700hPa～1060hPa

4. 保管場所については次の事項に注意すること。

- (1) 水のかからない場所に保管すること。
 - (2) 気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、イオウ分などを含んだ空気などにより悪影響の生ずる恐れのない場所に保管すること。
 - (3) 傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）など安定状態に注意すること。
 - (4) 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に保管しないこと。
5. 耐用期間
正規の保守点検を行った場合に限り、納入されたときから8年（自己認証〔当社データ〕による）

*【保守・点検に係る事項】

しばらく使用しなかった機器を再使用するときには、使用前に必ず機器が正常かつ安全に作動することを確認すること。

*【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

株式会社 トプコン

TEL 03-3558-2506